

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 30 日

事業名称		人事管理事務費 [人事管理事務]									
予算科目	款 2	総務部	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号	2			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	職員		課		人事研修		係	課長名	岩本 尚史		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	①正職員の採用 東大和市役所に入職を希望する受験生(一般事務) ②会計年度任用職員の雇用 職員の産休・育休等による代替が生じた職場				①採用試験の受験者数 ②代替職員が必要となった職場数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	①市が求める人物像に一致した人材を採用し、職場の活性化を図る。 ②会計年度任用職員が適正に配置され、円滑かつ効率的に事務が執行できる。				①採用人数 ②会計年度任用職員を配置された職場数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①より良い人材を採用するため、第一次試験については民間企業で実施しているSPI試験のように、一般常識を問う問題を実施した。また、2次試験の集団面接では課長職だけでなく部長職にも面接官を依頼し、より人物重視の集団面接とした。 ②会計年度任用職員を採用し、配置した。(採用者を選考した上で、雇用に伴う事務手続きを行った。)				①採用試験実施回数 ②会計年度任用職員の雇用者数						
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	①246 ②20	①298 ②20	①271 ②22					
	成果指標	②の数値	人	①13 ②20	①13 ②20	①12 ②22					
	目 標	②の目標値	人	①13		①12					
		目標値設定の考え方 退職職員人数分や市の定員等を充足させるための人数									
3 経費	活動指標	③の数値	回	①1 ②31	①1 ②33	①2 ②31					
	事業費(実績)		円	41,111,985	41,835,070	41,891,208		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、838,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	41,111,985	41,835,070	41,891,208					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.3	1.3	2.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	1,071,720	1,080,300	1,676,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	42,183,705	42,915,370	41,891,211						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化		①年度毎に退職者人数が変化するため、その年度ごとに採用人数を検討している。								

事業名称	人事管理事務費 [人事管理事務]			
担当部署・課長名	職員	課	人事研修係	課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ①第1次試験の実施方法の検討（web試験やセンター方式等） ②会計年度任用職員制度への移行に伴い、制度の適正な運用のための整備			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	①令和2年度では新型コロナウイルス感染症の拡大により、早急な第1次試験の検討が必要となり、検討の結果、令和3年度はテストセンター方式で実施することの意思決定を行った。 ②手引きの作成等、適正な制度運用整備を行うとともに、一般事務の職については公募を実施し、人材の確保に努めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	①テストセンター方式を実施するうえでの運用方法の検討が必要である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ①今後も組織運営をしていくにあたり、優秀な人材を確保するため、試験方法の検討を行っていく。 ②令和4年10月の会計年度任用職員の共済加入への準備を進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	①採用試験委託業者や他市を参考にし、必要な調整や準備を行っていく。 ②共済組合及び教育委員会と調整しながら、準備を進める。			